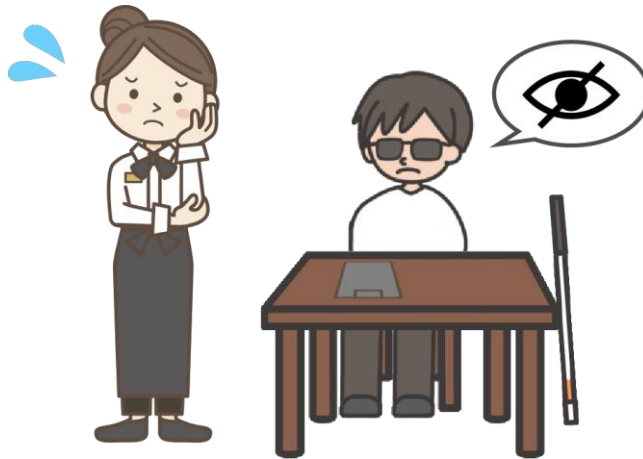


case
4

飲食店におけるメニューの情報提供1

【状況】

- ・視覚障害のお客様が来店。
- ・メニューが読めないで、何があるのか教えてほしい、と言われた。

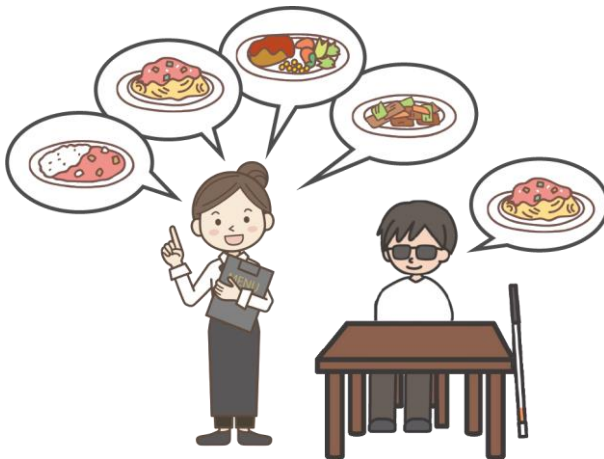


【対応方法の一例】

- ・メニュー数が少ない場合は、ひとつずつお伝えしましょう。
- ・メニューが多い場合は、まずは種類をお伝えしてお客様のご希望を伺います。
- ・その中からお客様が「パスタ」と「冷たい飲み物」とおっしゃったら、続いて具体的なメニューを読みあげてください。

・最初に「スマホはご利用なさっていますか？」とお聞きするのもひとつの方法です。音声読み上げ機能でスマホを利用されているお客様には別の提案方法もあります。

⇒case5でご紹介



Point!

混雑時には、対応できるようになるまで多少お待ちいただいても大丈夫です。障害のあるお客様を最優先することが合理的配慮ではありません。

これはあくまでも一例です。必ずこうしなければならない、というものではありません。それぞれに合ったより良い方法を、皆さまで話し合ってみてください。

